

外国特許トピックス

2019年8月
特許業務法人志賀国際特許事務所
(外国事務部 加藤基志)

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
外国特許出願に関し、最近のトピックス等をお知らせいたします。

2017年度のインド特許出願統計

インド特許庁より公表されている2017年4月1日から2018年3月31日までの1年間におけるインド特許出願統計(最新版年報)に基づき、インド特許出願の概況について紹介いたします。

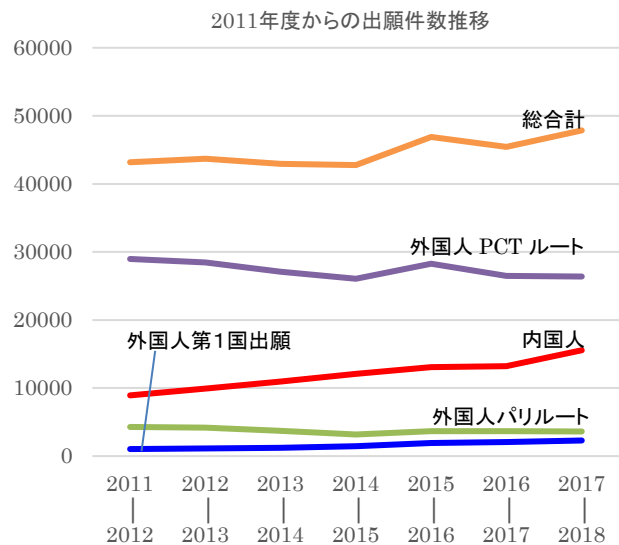
1. 出願件数

2017年-2018年のインド特許出願総件数は47,854件(前年比5.3%増)でした。内訳は以下のとおりです。

		2017-2018	前年比
内国人		15,550	+17.6%
外国人	第1国出願	2,290	+9.9%
	パリルート	3,610	-1.1%
	PCTルート	26,404	-0.3%
	合計	32,304	+0.2%
総合計		47,854	+5.3%

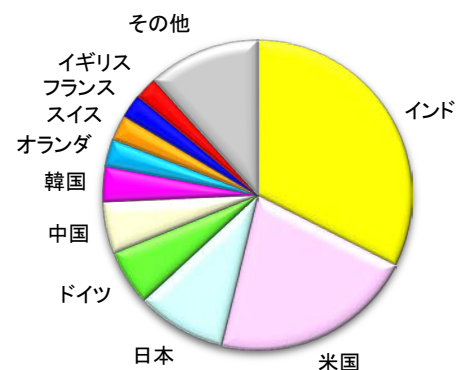
出願総件数はここ数年で最大になりました。内国人出願と外国人第1国出願は例年同様に増加傾向で、特に、内国人出願は右肩上がりの増加です。

内国人出願件数増加傾向の主な理由は、インド国内の企業や学術機関による高度研究分野への投資、研究開発を促進する税制上の優遇措置、インド政府がインド全土で知的財産に関する多くのキャンペーンを行い多くの大学や研究所に特許出願を検討するよう働きかけるなどインド国内における知的財産権に対する意識の高まりによるものです。



2. 上位出願国(10ヶ国)

順位	国名	2017年度	前年比(%)	全体占有率
1	インド	15,550	+17.6%	32.5%
2	米国	10,179	-6.5%	21.3%
3	日本	4,487	+5.0%	9.4%
4	ドイツ	2,773	-1.6%	5.8%
5	中国	2,572	+0.4%	5.4%
6	韓国	1,736	+13.7%	3.6%
7	オランダ	1,387	+2.1%	2.9%
8	スイス	1,268	-13.6%	2.6%
9	フランス	1,184	-2.5%	2.5%
10	イギリス	1,136	+12.7%	2.4%
-	その他	5,582	+9.2%	11.6%
合計		47,854	+5.3%	100.0%



内国人出願件数の増加が目立つ一方、外国からの出願件数は合計では横這い(上記1. 出願件数の外国人合計:32,304件/前年比0.2%増)、各国毎に見ると全体的に低調です。出願人別国外企業の出願件数では、前年1位のQUALCOMM(米国)は前年比で半減(1,840件⇒960件)、前年3位のHUAWEI(中国)は前年比で8割減(625件⇒120件)という状況です。この点について現地代理人は、今期はコンピュータや通信分野の出願件数が減少したため、これらの企業の出願件数減少は特定の技術分野の減少と見ることができ、むしろインド特許庁の審査滞留が解消されつつあることへの期待も込めて今後は増加傾向となるとコメントしています。

3. 審査件数の増加

2017年-2018年の審査件数(Office Action 発行件数)は前年の28,967件から108.3%と大幅増加の60,330件でした。2009年から2016年の間の出願に関するFirst Office Actionが毎日20~30件発行されており、ここ数年間における直近1年間の発行ペースは過去最大です。審査官は2016年に464人増員され、2018年3月31日時点で572人が在職しています(今後さらに220人の審査官が増員される予定です)。審査件数の激増は、インド特許庁の審査滞留解消のために行われてきた特許庁内部のインフラ整備、出願人による手続きの簡略化などがマンパワー補充と相俟って有効に機能している表れだと思われます。

以上